

庁会
業中
企中
小全
国

福井宇部のひび割れ低減 コンクリート

ものづくり補助事業に採択

経済産業省中小企業庁と全国中小企業団体中央会は7日、「特定ものづくり基盤技術」に関する「ものづくり補助金」の採択結果を公表、試作開発を行う「試作開発等支援事業」1657件、自ら開発した製品・技術などの実証や性能評価などを公設試験機関などに依頼する「製品実証等支援

事業」440件を採択した。このうち福井宇部生コンクリートは「新開発『ひび割れ低減型コンクリート（フライアッシュ混合型高炉セメントコンクリート）』の性能評価」に関して「製品実証等支援事業」に採択された。ひび割れ低減型コンクリートは高炉セメントにフライアッシュを混和材

として添加した生コンを製造し、ひび割れ低減を図るもの。フライアッシュを使用する場合、未燃カーボンの影響が懸念されるが、有機リン酸エステルを主成分とする特殊AE剤を用いることなどで未燃カーボンによる問題を解消している。

このほかセメント・コンクリート関連では「試作開発等支援事業」としてエスピック（群馬県）の「軽量・高耐久ブロックの開発」、大和化学工

業とエステイーエンジニアリング（奈良県）の「PC（プレストレストコンクリート）円形構造物用Uターン鋼管に替わるプラスチック製品の開発」、フジタ建設コンサルタント（徳島県）の「コンクリート構造物中の塩分濃度の測定装置の試作開発」が採択された。

「製品実証等支援事業」は福井宇部以外ではアワーステック（大阪府）の「コンクリート中の塩化物量の『蛍光X線分析』と『電位差滴定法分析』との相関性の実証」、カワノ工業（山口県）の「竹コンクリート魚礁の性能評価と構造検証」が選ばれた。

試作開発等支援は試作開発から販路開拓までを支援するが、助成期間は原則1年。人件費や機械装置、原材料などの経費の3分の2以下（上限1億円）を補助する。実証等支援も助成期間は1年で、50〜500万円を補助する。